

正負の数 ① 正の数・負の数／数の大小／絶対値

中学1年生・数学 / 第1章 正負の数 / 難易度：標準

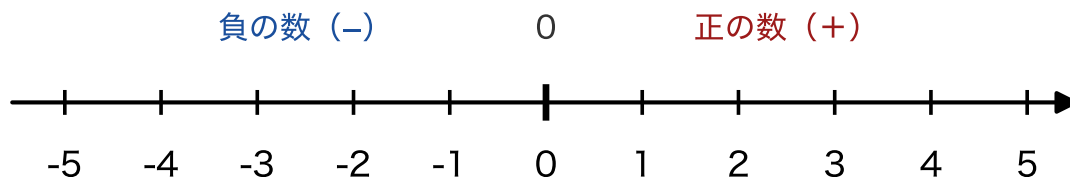
今日のポイント

1. 正の数・負の数

- ・ **正の数**=0より大きい数。プラスの符号「+」をつける（+を省くこともある）。例：+3, 5
- ・ **負の数**=0より小さい数。マイナスの符号「-」をつける。例：-3, -0.5
- ・ **0**は正の数でも負の数でもない（境目の数）。

2. 数直線

右へ行くほど数は**大きく**、左へ行くほど**小さく**なる。0より右が正の数、左が負の数。



3. 反対の数（符号だけ変えた数）

+3の反対の数は-3、-7の反対の数は+7。符号を逆に**するだけ**。0の反対は0。

4. 数の大小（不等号 <>）

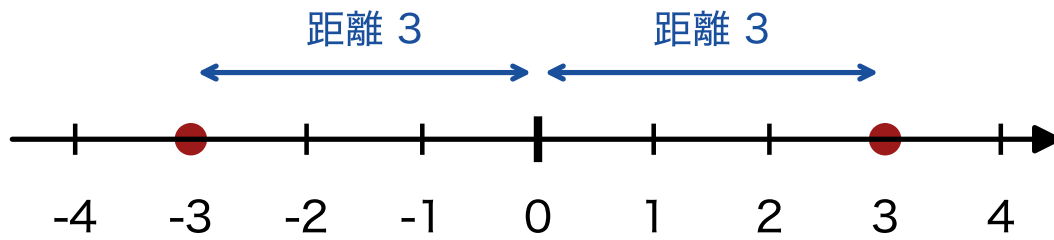
数直線で**右にある数ほど大きい**。

- ・ 正の数 $> 0 >$ 負の数
- ・ 負の数どうしは「**0から遠い（絶対値が大きい）ほうが小さい**」。例：-5 < -2

5. 絶対値

絶対値＝数直線上で0からその数までの距離。記号は $||$ 。

- $|-3|=3$ 、 $|+3|=3$ （符号を取った数） ・ 絶対値は必ず0以上。 $|0|=0$
- 絶対値が等しい数は2つある（例：絶対値が4の数は+4と-4）。



よくあるミス

- 負の数の大小を逆にする：~~×~~ $-5 > -2$ → $\bigcirc -5 < -2$ （-5のほうが小さい）
- 絶対値に符号をつけてしまう：~~×~~ $|-3| = -3$ → $\bigcirc |-3| = 3$
- 0を正の数に入れてしまう → 0は正でも負でもない。

例題

例題1 「0より6小さい数」を、符号をつけて表しなさい。

解答：**-6**

解説：「小さい」は0より下なので負の数。0から6だけ小さいので-6。「大きい」なら+になる。

例題2 +8の反対の数を答えなさい。また-5の反対の数も答えなさい。

解答：+8の反対は**-8**、-5の反対は**+5**

解説：反対の数は符号を逆にするだけ。数の大きさ（8や5）はそのまま。

例題3 -3と+2の大小を、不等号を使って表しなさい。

解答： **$-3 < +2$**

解説：数直線で+2は-3より右にある=大きい。正の数は負の数より必ず大きい。

例題4 -7と-4の大小を、不等号を使って表しなさい。

解答： **$-7 < -4$**

解説：負の数どうしは0から遠い（絶対値が大きい）ほうが小さい。 $|-7|=7 > |-4|=4$ なので-7が小さい。

例題5 次の値を求めなさい。 $|-8|$ 、 $|+3|$ 、 $|0|$

解答： **$|-8|=8$ 、 $|+3|=3$ 、 $|0|=0$**

解説：絶対値は符号を取った数（0からの距離）。マイナスをつけたままにしない。

例題6 絶対値が5である数をすべて答えなさい。

解答：**+5と-5**

解説：0からの距離が5になる数は、右に5（+5）と左に5（-5）の2つ。絶対値が等しい数はふつう2つある（0だけは1つ）。